

平成23年度
実施事業

事務事業名 登別観光振興特別対策事業補助金

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|---|
| 章 | 3 | 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち |
| 節 | 1 | 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる |
| 施策 | 1 | 魅力ある観光地づくり |
| 小分類 | 2 | 心と体を癒す観光のまちづくり |
| 主要な施策 | 1 | 広域連携による濃密な情報発信 |
| 事務事業番号 | 001 | 事業開始年度 平成 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-------|-------|----------|
| 部 名 | 観光経済部 | グループ名 | 観光振興グループ |
|-----|-------|-------|----------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|----------|---|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | 市の基幹産業である観光産業の振興を図るため、(社)登別観光協会が行う誘客促進事業を支援する。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください) |
| | <p>誘客宣伝事業：宣伝印刷物(周辺マップ、ガイドマップ)の作成、ホームページ等情報コンテンツの充実強化、観光客誘致宣伝の実施(道内、道外、海外)</p> <p>まつりイベント委員会事業：「鬼火が誘う地獄の谷」の実施(6月1日～11月30日)、第48回登別地獄まつりの実施(8月27日、28日)、第41回登別温泉湯まつりの実施(2月3日、4日)、カルルス温泉冬まつりの実施(3月4日)</p> <p>環境整備委員会事業：バイパス及び泉源公園等の花卉植栽による景観形成、桜並木の整備及び温泉街の植樹事業、周辺道路および温泉街の美化清掃、イルミネーション、ライトアップの実施</p> |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 各種イベント・広告宣伝・誘客キャンペーン等の実施による観光客の増加を目指す。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | |

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

| 区分 | | 単位 | H22年度 決算 | H23年度 決算 | H24年度 当初予算 | H25年度 見込 | H26年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 41,900 | 41,900 | 41,900 | 41,900 | 41,900 |
| 事業費 合計 | | | 41,900 | 41,900 | 41,900 | 41,900 | 41,900 |

指標の推移

《Check》

| 区分 | | 単位 | 区分 | 22年度 実績 | 23年度 実績 | 24年度 目標 | 25年度 目標 | 26年度 目標 |
|------|--------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果指標 | 観光入込客数 | 千人 | 目標値 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 |
| | | | 実績値 | 3,042 | 2,661 | | | |
| | 宿泊客延べ数 | 千人 | 目標値 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 |
| | | | 実績値 | 1,164 | 1,058 | | | |

| 現況 | | 《Check》 |
|---|--|---------|
| 現状の状態、問題点、課題等《事業前》 | 具体的な対策、解決の方向性《事業後》 | |
| <p>東日本大震災の影響により国内外からの観光客が減少したが、これを回復するには観光協会が実施する事業は必要不可欠である。</p> | <p>東日本大震災の影響により観光客が大幅に減少したが、秋以降回復傾向にある。今後は道内外、国外（特に回復が遅い国）からの観光客の誘客を促進し、回復させる取り組みが必要である。</p> | |

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|-----------------------------------|---|------------------------|--|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | → | 市が主体に行うべき事業である | 判断理由及びその他所見 観光産業の振興を図るための活動を行っている（社）登別観光協会を市が支援することは妥当である。 |
| | | 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である | |
| | | 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である | |
| | | 国、道、民間等の事業と重複・類似している | |
| 2. 事務事業の必要性について | | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | → | 市民、団体等から具体的な要望がある | 判断理由及びその他所見 観光産業は当市の基幹産業であり、経済波及効果が大きく裾野が広いことから必要性の高い事業である。 |
| | | 市民アンケートの結果から必要性が高い | |
| | | 社会情勢、地域事情等から必要性が高い | |
| | | 市民の大部分が関連することから必要性が高い | |
| 事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | → | 低予算、少労力で高い効果をあげている | 判断理由及びその他所見 国内外からの誘客を図るためには各種メディアへの掲載やプロモーション活動が必要であることから多額の経費を要するが、観光産業の振興を図るためには必要不可欠な事業と考える。 |
| | | 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い | |
| | | 多額の経費や労力を要するがやむを得ない | |
| | | 将来的に効率性を向上できる | |
| 4. 事務事業の成果について | | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | → | 成果指標の向上が見られる | 判断理由及びその他所見 本年度は、東日本大震災の影響により観光客が大幅に減少したため過去と比較した成果の把握は困難であるが、秋以降回復傾向にあるなど一定の成果が出ていると考える。 |
| | | 市民、団体等の声から成果を感じられる | |
| | | 目に見える形で成果があがっている | |
| | | 成果の把握は困難である | |

担当グループによる評価 《Check》

| | | |
|-----------|----------------------|--------------------------------------|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 観光客の増加を図るためにも、事業の継続が必要であることから、維持とする。 |
|-----------|----------------------|--------------------------------------|

行政評価会議による評価 《Check》

| | | |
|-----------|----|--|
| 維持 | 備考 | |
|-----------|----|--|